

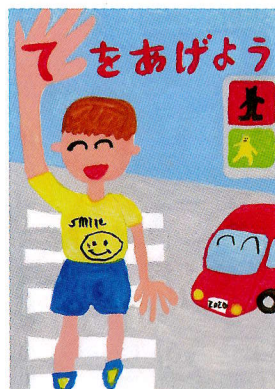
いそいでも 心のブレーキ かけましょう



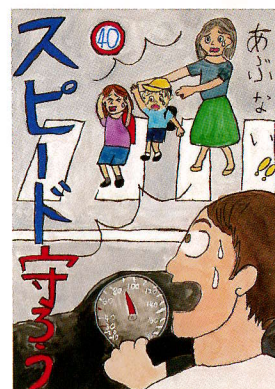
最優秀賞
榛東村立南小学校
5年 古手清加



優秀賞
榛東村立北小学校
3年 加藤 紬



入選 榛東村立南小学校
2年 金古晃大



入選 榛東村立南小学校
4年 大石純可

明けましておめでとうございます。
村民皆様方には、平素から当会の活動に対しまして、深いご理解と温かいご支援を賜りまして、心より厚く御礼申し上げます。
昨年は新型コロナウイルス感染症の影響を受け村内においても交通事故件数は減少傾向にあると聞いておりますが、外出自粛というのが要因ではないかと思えます。感染症が収束方向へ向かいましても減少傾向が維持できますように榛東村交通安全会でも、様々な啓発活動を行ってまいりたいと思っております。冬は夕方、暗くなるのも早くなりますので、高齢者や児童、園児の皆さんには反射材を身に着けて頂き、運転者に自身の存在を知らせることが大切だと思います。悲惨な交通事故を防止するためには、正しいルールとマナーの徹底に努めていただきたいと思えます。
皆様方が交通事故に遭わないよう、交通事故を起こさないようお祈り申し上げるとともに、ご健勝とご活躍を祈念致します。



榛東村交通安全会

会長 蜂 巢 一 彦

反射材を身に着けて 交通事故の防止



榛東村交通安全会
女性部長
小林 一十 美

大切な命を 守りましょう

明けましておめでとうございます。

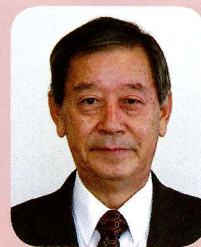
交通安全会をはじめ関係者の皆様には、交通安全活動にご協力を頂き心より感謝申し上げます。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大により思いがけない日常となつてしまいました。

交通安全会の活動も変わらず、例年女性部で力を入れている幼稚園・保育園・こども園での指人形、着ぐるみ劇の交通安全教室が残念ながら実施できませんでした。代わりに、しんとうちやんの反射材と昨年度の着ぐるみ劇のDVDを配布させて頂きました。その時に4月から1年生になるお友達と、道路を渡るときは、飛び出しは絶対にしない。『私は必ず止まります』の3本指のお約束をしました。

交通安全ルールを守ることが大切な命を守ることです。子どもたちへの交通安全活動の大切さを感じながら、私達大人ができることは良い手本を示すことではないでしょうか。一人ひとりが優しさと思いやりを持って、交

通事故の無い安心安全な生活に繋げていきましょう。これからも交通事故防止の呼びかけを続けて参ります。



榛東村交通対策協議会
会長（榛東村長）
真塩 卓 氏

コロナ禍の中での活動 に敬意を込めて

明けましておめでとうございます。村民の皆様には、輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。昨年は新型コロナウイルス感染症の発生に伴い、世界全体を見渡しても大変厳しい一年となり、現在も予断を許さない状況が続いております。

昨年の群馬県における交通事故発生件数は、発生件数・死者数・負傷者数の全てにおいて一昨年を大きく下回る結果となりました。また、県内の状況と同様に、本村における交通事故発生件数についても、発生件数30件・負傷者数39件と一昨年を大きく下回る結果となっております。

死亡者数については平成26年から7年連続で0でした。これはコロナ禍による一時的な外出控えも一因であると思いますが、交通安全会をはじめとした交通安全運動に携わる方々の日頃の努力と村民の交通安全への

意識の高まりも重なった結果であると思っております。

昨年は2月末頃から始まった新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、交通安全に関する事業についても縮小を余儀なくされる中において、三密回避及び感染防止のための創意工夫を凝らしながら、一斉街頭指導、夜間広報パトロール、子ども達への交通安全教室等を実施し、村民の交通安全意識の高揚に寄与していただきました。大変困難な中においても可能な限りの事業を実施していただいた交通安全会、交通指導員をはじめとする交通関係者の方々に改めて敬意と感謝を申し上げます。

村といたしましては村の交通関係者の方々、渋川警察署、渋川交通安全協会と連携を強化し、交通事故のない安心安全な村づくりに引き続き取り組んでいきたいと思っておりますので、村民皆様のご支援ご協力をいただきますようお願い申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。



渋川交通安全協会
事務局長
井上 雅雄 氏

効果的な交通事故防止 対策

新年明けましておめでとうございます。

皆様に、輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

平素から渋川交通安全協会の運営、活動等に深いご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年の渋川警察署管内の交通事故発生状況は、発生件数、傷者数は、いずれも前年比で減少する結果となりました。

これも市町村、警察はもとより、各地区交通安全会、団体等の各種交通事故防止活動及び高い交通安全意識を持った地域の皆様の献身的な活動の賜であり、改めて心から感謝申し上げます。

しかしながら、死者数のみが、前年比プラスとなる極めて残念な結果となりました。

当協会と致しましては、こうした昨年の事故発生状況及び重大・特異事故につながる交通事故の発生実態を踏まえ、管内の交通事故を減少させるために、今後子どもと高齢者の交通事故防止を重点に

○子どもと高齢者の交通安全意識の高揚

○事故防止に有効な反射材の活用

○追突事故・出会い頭事故の防止

等の活動を積極的に推進することとしております。

新型コロナウイルスの終息が見とおせず、事故防止活動が制限される中で交通事故のない、安全・安心な地域を実現するためには、今後さらに、より効果的な各種交通事故防止対策が重要となってくると思います。

交通事故のない安全な榛東村をめざして、本年も渋川警察署をはじめ交通安全会、関係機関・団体と緊密な連携の下に地域の皆様と交通安全活動に取り組んで参りますので、引き続き当協会に対するご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



渋川警察署
交通課長
山本 知史 氏

歩行者優先の運転を 心掛けて

新年あけましておめでとうございます。

皆様には、輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

皆様には、平素から警察行政に対して、多大なるご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

令和2年中の交通事故の発生状況を見ますと、コロナ禍による非常事態宣言中は、交通量が非常に少なくなったことに

より、交通事故も大きく減少しました。

令和2年中も、榛東村では交通死亡事故の発生はありませんでしたが、他市町では3件の死亡事故が発生し、4人が犠牲になっています。

1件目は、4月15日に吉岡町上野田地で発生したひき逃げ事件で、男女2人が亡くなりました。

2件目は、6月27日に渋川市赤城町地内でオートバイの単独事故により男性が1人亡くなりました。

3件目は、12月8日に渋川市赤城町地内で軽自動車ガードレールに衝突する単独事故により女性が1人亡くなりました。

また、秋以降の交通事故を見てもみすと、日没後に横断歩行者が被害に遭う交通事故が多数発生しております。

特に日没時間が早い冬季は、早めのライト点灯と歩行者優先の運転を心掛けていただきたいと思えます。

榛東村の交通安全会や交通指導員の方々の交通安全に対する意識は非常に高く、日々の地域に密着した積極的な活動には感謝申し上げます。

今後とも地域住民の交通安全意識の高揚を図り、交通事故のない明るい地域社会の実現に向けて、ご協力をよろしくお願いいたします。



榛東村立南幼稚園 園長 萩原綾子氏

交通ルールを知って 守る安全教育

新年あけましておめでとうございます。交通安全会を始め関係者の皆様には、日頃より交通安全教育にご尽力いただき感謝申し上げます。子どもたちは交通安全教室を通して交通ルールを自分から守ること、実践することを知ります。横断歩道の渡り方指導で3本指を使い「わたしは、かならず、とまります」は理解しやすくしつかり受け止めますので、園外保育などで道路の安全な歩き方や横断歩道の渡り方を実践しながらわかるように一人ひとりの子どもに合わせた指導を行います。今年度は新型コロナウイルス感染症予防のために直接、交通安全教室は行えませんでした。交通安全会の方々に作成していただいたDVDで学ぶことができました。道路や駐車場で「飛び出す、必ず停まって左右確認、もう一度確認」を子どもたちに繰り返し伝えて危機管理意識を高め、自分の身体は自分で守れるような子どもたちに育てていきたいと考えます。今後も安全教育のためのご指導をよろしくお願い申し上げます。



榛東村交通指導員 隊長 岡本英樹氏

一人ひとりが意識を 持つて

新年明けましておめでとうございます。

日頃より、交通指導員の活動にご理解、ご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

活動の中で、朝の街頭指導をしています。いままでに、シートベルト着用、スマホを操作しながら運転の人を見掛けます。

また、テレビ、新聞等のニュースでも最近話題に上がっています。あおり運転、これも仕事で運転していると、時々、見掛けます。

朝の時間帯が、なんとなく多い様な気がします。

一人ひとりが、思いやりある運転、交通安全への意識、気持ちを持っていただければと思います。

私達交通指導員は、各関係機関と協力し合い、歩行者の安全、各行事での交通整理、あらゆる安全を意識しつつ、活動していきたいと思っています。



榛東村在所 長 澁谷敏之氏

交通事故ゼロの 村の実現に向けて

新年明けましておめでとうございます。本年もよろしく願いいたします。

皆様には、平素から警察行政各般に対して、多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、例年では交通事故のない榛東村の実現に向け「交通事故ゼロ」という目標のもと、蜂巢交通安全会会長さん、小林女性部長さんを中心に、交通安全会や、交通指導隊、自治会長等様々な団体、ボランティアの方々の協力によって取り組んできましたが、本年はコロナウイルスの蔓延により、残念ながら平素行っていた幼稚園、園保育園児対象の交通安全劇、中学校生徒への交通安全教室、さらにピラや安全グッズを配るショッピング作戦等の街頭活動等が中止になりました。

しかし、その中にあっても感染症予防に配慮しながらできる活動として幼、保、こども園児童へ「しんとうちゃん」の反射材の配布と交通安全教室、小学校へは自転車等交通安全教室、

交通安全運動期間中には高崎渋川バイパス沿いに上り旗を持って街頭広報等に取り組んでまいりました。

榛東村では、平成26年以降、交通死亡事故は発生していません。昨年（令和2年）の交通事故発生状況では、物件交通事故は昨年同日比（11月30日）でマイナス17件、人身交通事故マイナス27件で怪我をされた方もマイナス45人と大きく減少しました。

減少の理由としては、皆様の交通安全啓蒙活動の成果と新型コロナウイルス感染症の蔓延による外出制限による交通量の減少があります。

交通事故の発生原因は安全不確認が37パーセントにあたり、周囲の交通状況に注意を払うことで事故を防ぐことができたと思います。また、年齢別では、65歳以上の高齢者による交通事故が24パーセントと全体の4分の1を占め、時間帯別では朝夕の通勤時間帯に集中している傾向にあります。

交通事故を防止するためには、歩行者、自転車利用者及び自動車等の運転者それぞれに、交通ルールを遵守していただき、特に自動車等を運転される場合には、車間距離を十分に保ち、交差点での安全確認をしつかりお願いいたします。

本年も地域の皆様と共に「交通事故ゼロの村」の実現に向けて地道に活動を積み上げてまいりますので、引き続きのご協力をよろしくお願いいたします。

一斉街頭指導

夏の県民交通安全運動期間及び秋の全国交通安全期間中、渋川警察署、榛東駐在所、榛東村交通指導員の皆さんと合同で榛東村内において一斉街頭指導を行いました。



SHINTOMURA

anzenkai

安全会活動 レポート

photo
REPORT



カーブミラー清掃



懸垂幕作成



朝の街頭指導



夜間パトロール



交通安全教室

幼稚園・保育園・こども園では

交通安全教室、新入学児交通安全教室を実施しました。



小学校では…

自転車、横断歩道歩行訓練を実施しました。



高齢者の交通安全について

このコーナーでは、高齢者の交通安全について、高齢者の方の意見や体験談を紹介します。

田子二郎さん(6区)

交通安全に関して

車は実に便利な乗り物で、いつでも行きたい所へ行ける。しかし不注意で対人対物と云う事故を起こして死に及ぼす事もある恐い物である。運転をしている時スピードの出し過ぎ又前方左右を良く見て運転をしてもらいたい。道路は車だけでなく人も歩いていいますので十分注意をしてもらいたい。最近あおり運転など非人道的犯罪が起きていますが、犯罪者と云うのは誰かが実行すると俺もやってやろうと思う心理が働くようで最初に起こすのはいやみたいで一人が起こすと自分もやるという性格が心理的に起こす、あらゆる事件は、放火又、あおり運転その他の事件が起こるものです。世の中にこのような潜在的な性格をもっている人がいる大変恐ろしい事です。事故は自分が気を付けていても先方の不注意で起きてしまうので気を付けてもらいたい。特に高齢者になる程反射神経が鈍くなりますの

で十分注意して安全運転をしても
らいたいものです。



石川伍市さん
(21区)

無事故運転を心掛けて

私が運転免許証を取得したのが65年前、その頃に比し車も道路も格段と発展を続け、今は高性能車の時代になりました。近年新井に大型スーパーが outlet すると地域が一変しました。狭い村道をあらゆる方向から車で来店し交通量が倍増しました。最近音も無く近づく車と自転車が出合い頭に接触事故が発生、大事故にならず軽傷で済んだものの、見通しの悪い標識の無い丁字路等は必ず一旦停止左右を確認。「止まって3秒、事故は一生」車同士以外にも事故が発生します。道を歩いていて事故に巻き込まれる事があります。

我々長寿会「高齢者」は散歩する際、明るい時間帯で、出来るだけ遊歩道がある道を散歩しよう。更に遠くから見える明るい服装で、仲間と話し合い交通安全に気を配って暮らしております。私は便利な車をもう少し運転を続けたい。高齢になると足腰が弱り、車が必

要です。のろのろ運転をせず流れに沿って無事故運転を心掛け長生きの村を目指します。



一倉 毅さん
(13区)

余裕を持った心の運転で

在職中は、お客様を安全、正確、定められた時刻に目的地までお運びする輸送を業としてきました。退職後の現在、免許取得半世紀自動車運転無事故継続する事を社会的責任として行動しています。加齢に伴い筋力の衰えや視野障害など身体機能が低下する事をしっかりと胸に自覚、日々朝夕の血圧測定で自分の健康状態をチェック、早目の出発と余裕を持った行動操作に努めています。

平常心であせらずあわてない心、ルールの厳守、これが安全運転の基本原則です。特にシルバー、若葉マーク車には思いやり、ゆずり合う気持ちで接し、春秋の交通安全週間、毎月1日は県民交通安全日、25日の高齢者交通安全日に自身の運転を見直し反省改善するチャンスとして心掛けています。交通安全活動に尽力されている皆様に感謝と敬意を表します。

優良自動車運転者表彰を行いました

優良自動車運転者表彰は、自動車運転に関して、常に交通法令を遵守し、運転技能に優れ、かつ社会的責任を自覚した思いやりのある運転者を賞揚することで、模範運転を励行していただくとともに、他の運転者の交通安全意識の高揚を図り、交通事故防止に寄与することを目的として実施しています。令和2年において、次の方々が優良自動車運転者表彰を受賞されました。長年にわたる安全運転の励行受賞に対し心から感謝とお祝いを申し上げますとともに、今後とも安全運転をお願いします。

旭日金冠章 (40年以上 無事故・無違反)	松澤 辰春(5区)	
金冠金賞 (30年以上 無事故・無違反)		
金冠銀賞 (20年以上 無事故・無違反)	蜂巣 一彦(11区) 太田 栄子(17区)	太田 英樹(17区) 清村 昌一(7区)
金賞 (15年以上 無事故・無違反)	大石由美子(20区)	
銀賞 (10年以上 無事故・無違反)	花岡 康晴(9区)	
銅賞 (5年以上無事故・無違反)	早川 弘行(17区)	

毎月25日は
高齢者交通安全日です



今年度は、コロナ禍により交通少年団の委嘱が行われなかったため、2校それぞれの代表者から、交通安全について感じたことや意見などを紹介するとともに、中学校・青木校長からの寄稿を紹介します。

安全確保



榛東村立中学校
校長
青木 芳弘 氏

日頃より、榛東村安全会の皆様をはじめ地域の皆様、保護者の皆様には、生徒の登下校等における安全指導や安全確保にご尽力頂き、感謝申し上げます。

今年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、4月に全校生徒が登校できたのは、入学式を行った7日からの4日間のみでした。その4日間で何よりも重視したのは、自転車の乗り方指導です。特に新入生は、自転車の登下校となる生徒が多く、安全確保に配慮しました。4月9日は、午前中4時間をかけて、自転車の乗り方教室を校庭で行いました。また、可能な限り、職員による交通パトロールも実施しました。

しかし、校外の自転車の乗り方については、まだまだ課題があります。これからも継続して、「交通ルールを守る大切さ」を生徒と一緒に考えていきます。今後も地域の皆様方のご支援やご協力をよろしくお願いいたします。

交通安全で気を付けたこと



榛東村立南小学校6年
交通少年団
一倉 緒珠 さん

最上級生となった今年、通学班の班長や区長などをやらせていただく中で、交通安全について考える機会が多くありました。

私は、家族で時々家の近所を散歩します。冬になると日が暮れるのが早いので、父から反射材のたすきをかけるよう注意されました。しかし私は、格好悪い気がして、着用しませんでした。その矢先の事でした。後方から来た車が私となりすれすれを通っていき、とても恐い思いをしたことがあります。きつと、運転していた人も、暗闇に歩行者がいてびっくりしたと思います。そのような経験から、私は散歩中の反射材着用はもちろん、登下校の際は、道の端を歩くこと、道路を横断する時は、左右をしつかり確認することなど、色々な事に気を付けるようにしています。

現在、電気自動車の普及によって、車の走行音が小さくなっています。快適で便利になっています

が、それは危ない面もあるという事を忘れずに生活していきたいです。



榛東村立北小学校6年
児童会長
深津 希乃愛 さん

交通ルールの大切さ

私は区の区長、班長をしています。児童会長という立場でも自分の事だけでなく、周りの子の安全も守るという責任をもち、交通安全や交通ルールに取り組んでいます。

以前、父と暗い夜道を歩いている時に、ライトを手を持ち周りに知らせる、という事を教わりました。その時はあまり興味をもちませんでした。でも、後日車に乗っている時に、前からライトを持たずに歩いている人が見え危ないなと感じました。小さな事でもそれが命を守る事につながると分かりました。

毎日学校までの道のりを登校班で通学する、その間にたくさん交通ルールを守っています。それ

は小さな交通ルールでも同じです。私はその大切さに気づく事ができました。そして、その大切さに気づけたからこそ、安心安全な学校づくりを目指し、まずは自分や周りの子の安全を守っていききたいです。



交通安全会理事の 皆さんからの投稿です



3区理事
岡野 哲也

子ども達が事故に遭わないように

あけましておめでとうございます。

私には昨年幼稚園に入園した孫がいます。そのため交通安全に関して特に子ども

達が事故に遭ってほしくない気持ちでいっぱいです。子どもは、道路への飛び出し、止まっている車の前後を急に横断するなど大人には思いもよらない行動をとる事がありません。子どもたちが事故に遭わないようにするにはこうした行動の危険性を伝えることが

大切で、その一環として、児童に対し安全会の女性会員が中心となり実施している人形劇や着ぐるみを使った体験型、参加型の交通安全教室は児童の記憶に深く刻まれ、楽しみながら事故に遭わないための知恵を身に付けること出来る素晴らしい活動だと思います。

しかし、今年は残念なことにコロナウイルス感染拡大を受けその活動のほとんどが自粛となってしまいました。

男性の安全会会員は、交通安全週間には朝、山子田と八ノ海道交差点で通学児童の横断を黄色旗でサポートし「おはよう」の声掛けもします。

これは、地域全体で子どもの登下校を守っているという姿勢を通行車両に示す意味合いもあると思っています。

ちょっとした注意や意識で防げる事故は有ります。子ども達や村民の誰もが交通事故に巻き込まれないよう、事故を起こさないよう今後も交通安全意識の啓発をしてまいります。



5区理事
狩野 栄子

『交通安全の意識を持つ』

明けましておめでとうございます。

交通安全会の理事として活動に参加し、4年となりました。榛東村では『交通事故0』を

目指し、様々な活動をしています。幼稚園や保育園での着ぐるみや指人形を使つての交通安全教室。小学校、中学校でのマナーアップ運動。村内の行事での交通整理や啓発活動、夜間パトロール、街頭指導等、交通安全についての意識を高めるお手伝いが出来ればと活動をしています。

今年度は新型コロナウイルス感染拡大の為、感染予防対策をし、工夫をしながら、時には形を変えて出来る範囲での啓発活動となりました。

コロナ禍であっても、交通事故の危険は常にあります。歩行者、自転車利用者、そして自動車等運転者が、お互いに注意をし、思いやりを持つて交通ルールを守ることが出来ますように、これからも活動を続けていきたいと思っています。



9区理事
岩崎美佐恵

一人ひとりの意識を高めて

交通安全理事として2年目

を迎えました。

活動に参加してみても、一人ひとりに交通ルールをしっかりと守ってもらう、覚えてもらうと言う事で、村内の幼保育園、小学校で様々な形の交通安全教室。また、夜間のパトロールや街頭指導等を行ってきました。

しかし、残念な事に交通事故を招く事例が毎年見られます。それは、慣れた道、時間に余裕がなかった時、ちょっとした考え事をしてしまった時など集中力にかけてしまった為に起こしてしまう様です。どんな小さな事故でもトラウマとして残る物です。悲しい思いをしない為に、たとえば幼い頃より散歩などの機会に道路の歩き方を学んでいったり、自転車、バイク、自動車の正しい交通ルールやマナーを常に心がける事が大切ではないでしょうか。一人ひとりの意識を高めて、安心して過ごしていける事が皆なの願いだと思つたので、これからも交通安全活動を通して、お伝えしていける様努めて行きたいと思っています。



12区理事
高橋 信子

「行つてきます」から「ただいま」まで

新年明けましておめでとうございます。

交通安全会の活動に初めて参加させていただき、交通安全に対する意識が高くなりました。幼稚園、保育園の園児、小学生、中学生と交通安全教室等で接し、子ども達の真剣な姿にふれると「ルールを守つて事故にあわないでね。」と心から祈るばかりです。

運転中も携帯電話などの「ながら運転」は絶対に避けたいものです。

「行つてきます」から「ただいま」まで、どこに行つても自分のためそして大切な人のためにも、ルールを守つて思いやりのある運転を心がけたいと思います。

啓発運動を行うことで交通安全への意識を少しでも高めていただきたき全村民が無事故で安心して暮らせまますよう心から願っています。